

協会だより

平成17年1月
第24号

近　事　長　報　摺

社団法人 大正琴協会理事長
海　部　俊　樹



新年明けましておめでとうございます。

会員、愛好者の皆様には、お便りやかに希望に満ちた新年をお迎えのことと存じ、心からお慶び申し上げます。

日頃は社団法人 大正琴協会の公私両面に格別なるご理解とお力添えを賜わり感謝申し上げるとともに厚く御礼を申し上げます。

昨今は近年にない異常気象の年でありましたし、台風の襲来、集中豪雨、度重なる地震等、内外東西、本邦有の自然災害が多発しました。なかでも、衝撃中越地震は甚み慣れぬ町や村、そして、大地、震屋も破壊し、土地に住む人々の心でも打ち碎く悲惨、非情極まりない災害がありました。人々の弱り知れない自然の威厳、恐怖をこの街とばかりに脳裏に焼き付けて記って残りました。

“揺る世界に弱はない”と願しますように、一體の明るい前のきす方向に地域ぐるみで懇意を結ぶこと、過去に早く戻れるよう心中ご祈念申し上げます。

運命の上うな伸びが去り、後継を断絶したが「西暦」を迎えて、老いも若きも健康的の年にしていたいときたいと思っていきところでございます。

私も運命のはずみになれば重いですが、20世紀最後の方1回開催会“愛・地球博”が3月25日から半ヶ月の長期にわたり開催されます。自然と人、人と人が触れ合い、世界中の人々との交流、そして感動を体験できるイベントです。幸いにも当協会主催の“EXPO大正琴コンサート”も開催していただき、8月25日の開催が決定しました。

大正元年の創設から幾年の愛好者が育てて駆け足された素晴らしい大正琴の音色、音楽を愛する地、愛地、名古屋から全世界にアピールする絶好の機会です。全国の会員、愛好者のご協力を期待してやみません。

本年も豊かで、健生す持続的開拓の精神を保ったるパワーを發揮していただき、明るく平穏な一年を過ごされますようご期待申し上げて新年のご挨拶と致します。

第24回役員会議事録

1. 日 時 平成16年12月1日（火）

開始 時間10時00分

終了 時間10時50分

2. 場 所 大阪市淀川区西河原一丁目1番35号

大阪ザーデンパレス

出席者数 会員の総数 4,518名

出席者割合 4.34% (委任状提出)

4. 議事の概要

(1)開会

議長に、会員者の今朝和久理事が就任。

企画委員会平野忠男専務理事が、開会を宣言。

(2)議題承認議

議長は、議題承認の件を議題に附したところの会員一員の声あり。よって、議理事長此津徹氏を本議会の議長としたい旨附したところ、全員一致をもって承認し、岡田氏、これを了承し議長となり、議長をした。議長は、事務局に財務報告の報告をさせた。議長は、企画委員会取扱会員の以上の方出席があったので、本議会を了承した旨を感じた。

(4)議事権限名人選出

議長が、議事に先立ち議事権限名人2名の選出について述べたところ、議長一任の発言があり、全員異議なく賛成したので、議長は、議事権限が初代及び同席林義光を指名し、これを議場に附したところ、全員異議なく承認した。

被選任者らは、いずれもこれを承認した。

5. 第一項

第1号議案 平成16年度

収支予算執行状況報告に関する件

議長が、事務局員済会員行式に本件議題の説明を始めた。

専務副執行部は、予め配布して資料をもとに収支予算執行状況(平成16年4月1日から同年11月20日まで)について詳しく報告した。

以上につき議員が、議場に質問、意見を述べた後、本件を了した。

第2号議案 平成16年度

収支補正予算案承認に関する件

議長が、事務局員済会員行式に本件議題の説明を始めた。

専務副執行部は、予め配布した資料をもとに平成16年補正予算案を詳しく述べて説明した。

以上につき議員が、議場に質問、意見を述べた後、その可否を議場に附したところ、議場異議なく賛成となり承認可決した。

第3号議案 平成17年度

事業計画実績説明に関する件

議長が、事業委員会執行部理事に本件議題の説明を始めた。吉崎和幸氏は、予め配布した資料をもとに平成17年度事業計画実績を詳しく説明した。

以上につき議員が、議場に質問、意見を述べた後、その可否を議場に附したところ議場異議なく賛成となり承認可決した。

第4号議案 平成17年度

収支予算案承認に関する件

議長が、事務局員済会員行式に本件議題の説明を始めた。専務副執行部は、予め配布した資料をもとに平成17年度収支予算案を詳しく説明した。

以上につき議員が、議場に質問、意見を述べた後、その可否を議場に附したところ、議場異議なく賛成となり承認可決した。

6. 閉会

以上をもって、社団法人大阪府議会議員会議事権限会の議題の全部を終了したので、議長は、議場にその協力を願し、閉幕した。そして、専務副執行部平野忠男専務理事が閉会を宣した。

上記決議を確認するため、議長及び議事権限名人は各自に署名押捺する。

平成16年12月1日

社団法人大阪府議会議事権限会

議 長

印

議事権限名人

印

回

印

平成17年度「学習月間」(主要取組)

1. 生涯学習に関する普及・啓発活動

- (1) 第12回全国生涯学習フェスティバル大正翠谷合同展示会
・日 時 平成17年10月20日(土)開催
・場 所 青森県青森市大正翠谷会館大正翠谷中心会議室にて開催しています。
・趣 旨 大正翠谷を通じて人々の生涯学習に対する意識を高めるとともに、人々の学習活動への参加を促進するために開催します。
- (2) 体験学習・見本市への参加
・日 時 平成17年10月19日(日)～同年10月19日(日)までの1週間
・場 所 青森県立中央総合運動公園
・青森県農業公園内
・趣 旨 大正翠谷を通じて生涯学習の普及・振興を図るため、フェスティバル企画への実験を呼びかけるとともに、より多くの電話する人々に大正翠谷の運営手法を体験していただき、生涯学習の意識を高めます。

2. 生涯学習に関する各種講座・講習会等の開催

- (1) 協会主催の講習会を開催します。
(2) 地域における各種講座・講習会の開催、生涯学習会の認定会への推薦（地方事業開成）

3. 演奏会、指導者研修会

- (1) 第11回全国生涯学習フェスティバル大正翠谷会場(鳥取県)
(2) 第33回大正翠谷定期演奏会
（神奈川県横須賀市内 平成16年12月31日(土)～12月4日(日)）
(3) 地域における大正翠谷講習会への推薦
(4) 研修者研修会の開催

4. 調査研究事業

- (1) 参加しやすい大正翠谷
(2) 世代別の愛好曲の傾向

5. 出版物の刊行

- (1) 総評記(集合写真)第25、第26

平成17年度収支計算書

平成17年4月1日から平成18年3月31日

〔収入の額〕

(1) 基本財産運用収入	15,000円
(2) 会費・入会金収入	15,804,000円
(3) 事業収入	
①生涯学習フェスティバル活動料	4,200,000円
②火災予定賠償金会 会員料	11,000,000円
人会料	3,650,000円
会員登録料	0円
事業収入計	25,150,000円
(4) 被助金収入	0円
(5) 雑収入	500,000円
(6) 出版物収入	0円
当期収入合計	25,250,000円
前期繰越収支差額	8,050,000円
収入合計	33,300,000円

〔支出の額〕

(1) 事業費	24,530,000円
(2) 管理費	15,470,000円
(3) 手数料	0円
当期支出手合計	39,980,000円
当期収支差額	-1,731,000円
次期繰越収支差額	6,269,065円

第16回全国生徒学習フェスティバル(愛媛) 見本第一大正琴合同研究会のご報告

平成16年10月9日(土)から12日(水)までの4日間、愛媛県松山市の『アイテムえひめ』(以下「愛媛文化館」)を中心に、第16回全国生徒学習フェスティバルが開催されました。大正琴協会も例年通り見本第一回展と大正琴合合同研究会を開催致しました。昨年の沖縄同様台風に見舞われ、初日の10月9日は野外の体験会場が中止になるアクシデントもありましたが、室内の見本第一予定通り開催されました。

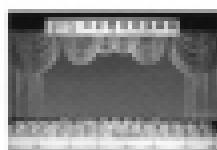
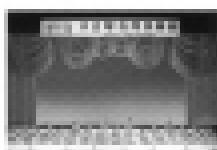
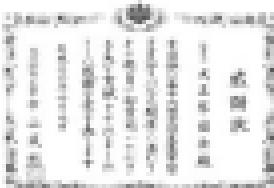
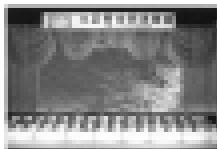
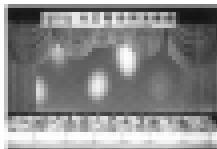
大正琴協会の見本由由樹ブースは、『アイテムえひめ』大正琴会場で行われ、当日開通して浦田たくさんの方が訪れ、大正琴を存分に体験されて行きました。そして、毎年同様、我孫子院下夫連が来場され、今年は利と大正琴をお弾きになられました。ブースをお手伝い頂いた会員の方々も感謝されていました。

また、12月11日『松前文化会館』大ホールにて開催された大正琴合合同研究会には、L2班名(2Dグループ)の方にご来場頂きました。体験を頂された会員様もおみえになりましたが、大きな事務も無く、成功裡に終わりましたこと、演奏者の音程、及び各演奏者の音程に深く感謝申し上げ、お礼の言葉とご報告に代えさせて頂きます。

第16回全国生徒学習フェスティバル

大正琴合合同研究会 実行委員会

協議会 会長 竹内 目一



講演会開催

第24回通常総会終了後、下記の講演会を開催致しました。

開　　日：平成16年12月1日（木）14時00分～15時30分

会　　場：大阪ガーデンパレス

大阪市淀川区西宮原一丁目3番5号

講　　師：日下部　功先生

有限公司 GALAXY 代表取締役

東京都世田谷区出身

講　　題：「ラッキーポイントはココロの筋肉」

受講者：約8名

講演要旨：学びの極意

並しみ、辛いこと、苦りたいことなど我慢することなく、できるだけ自分の好きなことや、楽しいことを選ぶように心掛け、他人に迷惑をかけないようにすることを学ぶ。

他の人よりも懸念していたり、うまくやれることによって自信持てるので、不確かなことがあっても我慢したり、恥みを失う必要はない。自分は自分であり、楽しく、自分を認められる生き方、学び方を選ぶ。そして、「恥免なさい」「ありがとう」の感情が自然に書えたり笑顔で伝わできるような気配りが大切である。

最後に手拍、肩、頭などの揺りをほぐす程度の軽いリズム運動やゲーム感覚でこなし、ひとり一人の得意、不得意な運動機能の発揮を身をもって楽しく体験することもできた。



豊田文化活動への紹介

財団法人大正夢協会が設立されてから12年になります。会員・愛好者は大正夢を通して復元・学習の面から幅広に努める傍ら、地域における文化活動に参加し、新しい文化的創造や豊かで文化活動への面から創造を高めつつあるように頑張しておられます。全国的な規模で行なわれる国民文化祭に参加する場合は、一定のルールがあり、当町村民の文化祭や国民文化祭等の登録登録をクリアすることが必要であります。手順の概要は以下のとおりです。

1. グループ・団体の所在する当町村の文化活動等を登録する部署に登録する。
2. 当町村主催の文化祭等に参加し発表する。
登録審査会にもあわしい内容であれば県民文化祭への出場資格が得られる。
3. 県民文化祭の審査基準にかなった成績であれば県民文化祭出場の権限を得られることもある。
多種多様な文化活動の種目があり、検査部別の年齢層や男女の都合で厳しい選別を受けることがある。
4. 国民文化祭の出場登録。
 - (1) 所在する町の選出以外に出場資格は得られないへ出場するにあたっては時代出しとして出場する。
 - (2) 楽性表として交通費及び宿泊費等諸辺に応じて一部の助成が得られる。
各自負担分の機器の運搬は自己負担。
5. 国民文化祭の決定及び内定会の内閣・開催地。(1) 第2回：平成17年10月22日(土)～11月3日(火)福井県(2) 第3回：平成18年11月3日(金)～11月11日(土)山口県(3) 第25回：平成19年10月27日(土)～11月4日(日)徳島県(4) 第25回：平成20年 7月 7日(日) 滋賀県(5) 第26回：平成21年 7月 7日(日) 奈良県(6) 第27回：平成22年 7月 7日(日) 関山県

お題がたり

著者説：古いたまや町立文化振興会事務局(まいたまや)

山崎ヨシエ

大正夢で 地域活動へ参加



豊田乳業先生から老人ホームで隔月の慰問演奏会のお説があり、今月より行っております。

このような機会をいただき、会員一人ひとりが練習に励んでいる現今です。老人ホームをはじめとして、敬老会が2会場、福祉施設、公民館文化祭・参加、第4回全国障害者スポーツ大会「ふれあい火炬」スタート式演奏があり嬉しい悲鳴が上がっております。聞いてくださっている方々から「音楽がいいですね。音、私も聴いてみようと思ったのよ」と声をかけられました。

こんな時もうれしまるひとしおです。感謝先駆、全人権先生に会員一同、感謝しております。

（6）大正界別全国音楽演奏会

会場13回大正界別定期演奏会

- 日 時 平成17年2月26日（日）
- 会 場 宮崎シーサイドアリーナホール
宮崎市山崎町浜山 TEL 0985-21-5133

会場15回大正界別定期演奏会（中央会場）

- 日 時 平成17年3月3日（木）
- 会 場 高島ガーデンパレス
高島市東区光明町1-15 TEL 082-261-18289

会場25回大正界別定期演奏会

- 日 時 平成17年6月8日（火）
- 会 場 名古屋ガーデンパレス
名古屋市中村区城二丁目11番12号

会場17回全国生涯学習フェスティバル大正界別定期演奏会

- 日 時 平成17年10月13日（火） 午後
- 会 場 自由民主党音楽室

会場14回大正界別定期演奏会

- 日 時 平成18年2月11日（土）～2月11日（日）
- 会 場 神奈川県民ホール
横浜市中区山下町3-1 TEL 045-633-3729

編集後記

千女の西と鳥とは幽因傳とか、しかし、西年の経記物には鳥やチャボがあしらわれています。彼がことを西手とする鳥の鳥ですが、かつて、西計の普及していない戰國時代に瀬戸で戦に敗れた前吉家連勝が逃走の途中に、三州の近江吉田（愛知県南設楽郡東栄町吉田）に現れるする講定寺に宿をとりました。夜明けに辻立予記を香けて脱りに入るのも束の間、夜通し活動していた今日勝の騒ぎを警知した講定寺の「鶯」が鳴ならぬ夜中に騒動しく鳴き叫び、極刑和解勢を危難から救ったご恩男として「鶯」の半面にわたり扶持が与えられたという「西年」に因んだ明るい隠語を紹介致します。

自然を尊ぶれている他の鳥でも尊い人命を救ってくれた鳥類に比べ、近年の環境は、前者を守めたり、自分中心の選択をする不誠の者が日立ちます。自然に親しみ、自然から学び、在郷力強、共存共生の理念で働きなき、愛しき、歎惜しき、ゆとり等の実感できる西年になることを願いたいものです。